

# 日経平均株価118円高 フジクラ株急落が映す不安心理 梶田大暉

2024/11/8 11:57 (2024/11/8 15:33更新) | 日本経済新聞 電子版



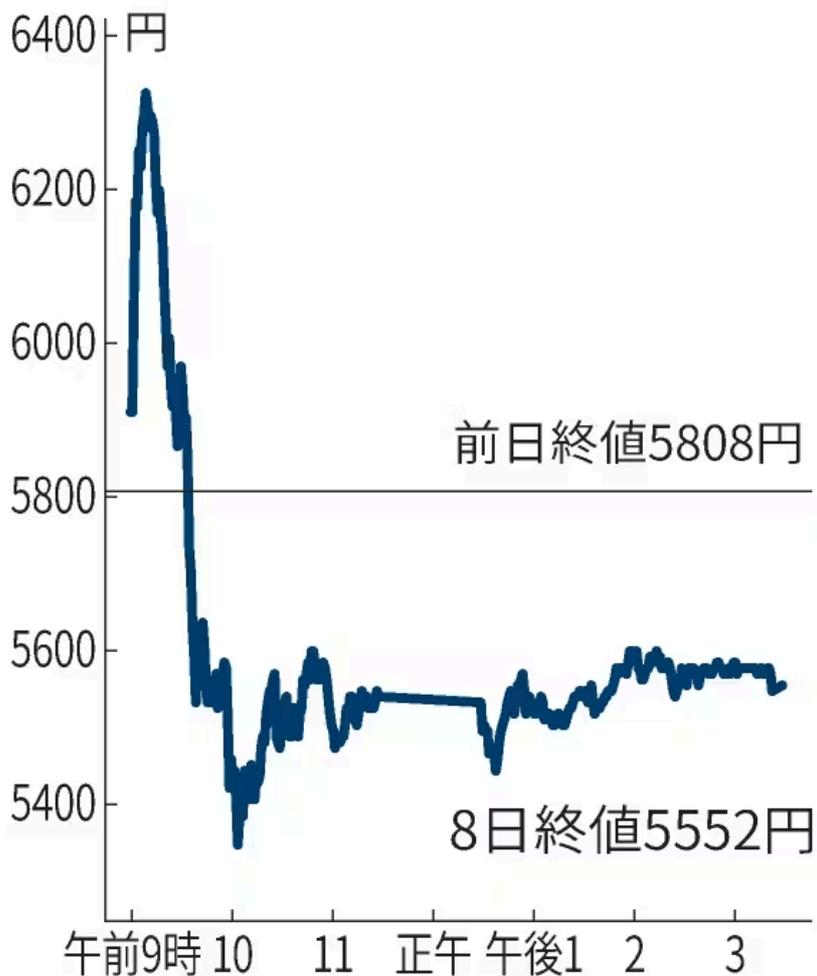
8日の東京株式市場で日経平均株価は取引開始直後に前日比400円超上昇した後、急速に上げ幅を縮め、終値は118円（0.3%）高の3万9500円だった。午後には一時下落に転じる場面もあった。米連邦公開市場委員会（FOMC）を無風で通過し、「トランプトレード」の代表銘柄群に位置づけられる三菱重工業や川崎重工業といった防衛株が買われたが、買いの勢いは相場全体には行き渡らなかった。

前日に日産自動車、資生堂、ロームなど主要企業の業績下方修正が相次いだことで、日本株投資家の不安心理が高まっている。東証株価指数（TOPIX）は0.93ポイント（0.03%）安の2742.15で終えた。東証プライム市場の値下がり銘柄数は971と、値上がり銘柄（632）より多かった。

【関連記事】[日経平均株価反発、終値118円高の3万9500円](#)

象徴的なのが、生成AI（人工知能）銘柄の一角として急ピッチの株価上昇を続けてきたフジクラ株の8日午前の値動きだ。

## フジクラ株は「つるべ落とし」



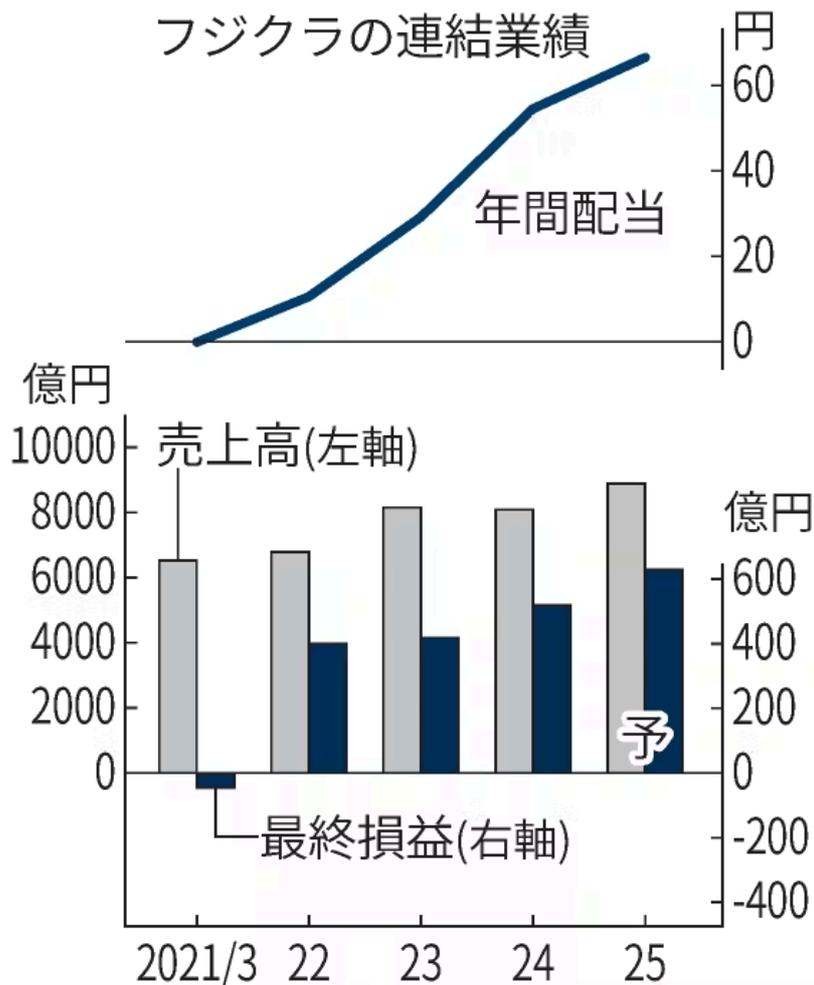
取引開始直後に急騰し、9時8分に一時前日比524円（9%）高の6332円まで上げた。株式分割考慮ベースの上場来高値をつけた。株価指数算出大手の米MSCIが6日（日本時間7日）、代表的な全世界株指数「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（ACWI）」にフジクラを追加で採用すると発表したことが追い風となった。

ところが、その後は買いが続かず、10時5分には一転して468円（8%）安の5340円まで沈んだ。まるで「つるべ落とし」のようだった。終値は4%安の5552円だった。

フジクラは7日の取引終了後に、2025年3月期の連結純利益が前期比22%増の620億円になる見通しだと発表した。従来予想から20億円増え、過去最高益となる見込みだ。好業績を反映し、25年3月期の年間配当予想は67円（前期は55円）と従来予想から2円積み増した。

# 今期は最高益更新を見込む

## フジクラの連結業績



業績のけん引役はデータセンター向け製品だ。大規模通信が必要な生成AIのデータセンターでは、サーバー間をケーブルや光配線部品で接続するため、関連製品の需要が拡大する。実際にデータセンター向け製品などを手掛ける情報通信事業の売上高は前期比23%増の3651億円、同事業の営業利益は74%増の681億円となる見通しだ。

ただ、フジクラの株価はこの期待を先んじて織り込んできた。投資家の積極的な買いにより、10月末時点の時価総額は1兆6958億円と、23年末時点（3208億円）の5倍に膨らんだ。

ある外資系証券のトレーダーは8日午前のフジクラ株の乱高下について「強い業績が出てくると期待され、その通りになった。材料出尽くしで利益確定の好機と判断されたようだ」と指摘する。大和証券の細井秀司シニアストラテジストは「今年に入ってからフジクラ株の運用成績は異常だった。これで売らない方がおかしい」と話す。

フジクラ株のほかにも投資家の気迷いが散見された。半導体検査装置のアドバンテストは前日に米ハイテク株高となる中でも、この日は売りに押され1%安で引けた。フジクラ同様に生成AIブームの中心として半導体株の中でも抜きんできて上げてきた銘柄だ。

米大統領選やFOMCなどの重要イベントを通過したことで個別企業に焦点が当たり始めるなか、「投資家はそれぞれのバリュエーション（投資尺度）が妥当かを判断する流れになっている」（アセットマネジメントOneの浅岡均シニアストラテジスト）。

| 下方修正銘柄に売り |              |
|-----------|--------------|
| 銘柄名       | 株価下落率<br>(%) |
| ユニチカ      | 17.3         |
| ローム       | 9.1          |
| 資生堂       | 7            |
| 日産自       | 6            |
| 麒麟HD      | 3.1          |
| 神戸鋼       | 1.4          |

(注) 8日終値、前日比

フジクラ株については先高観を指摘する声もあり、投資家の見方は分かれている。コモンズ投信の伊井哲朗社長は「予想PER（株価収益率）が高まっているとの声もあるが、業績と株価の伸びしろはまだある」と強調する。

日経平均でみると、予想PERは7日に16.08倍と、相場急落直前の7月31日（16.44倍）以来3カ月ぶりの高水準になった。これから先も日本株買いを進められるのか――。8日の日経平均とフジクラ株の伸び悩みは、強気になりきれない投資家の迷いを映し出したようだ。

（柘田大暉、大久保希美）

【関連記事】 [フジクラ上方修正し純利益最高に 25年3月期、増配も](#)